

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援



ポリオ撲滅運動
バキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2024年2月14日 第2534回例会 VOL.55 No.23

- 司会 SAA 北澤 正浩
- 開会点鐘 会長 田川 富男
- 斉唱 我等の生業
- 出席報告

会員数	19名	本日の出席数	13名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	78.95%

■本日の欠席者

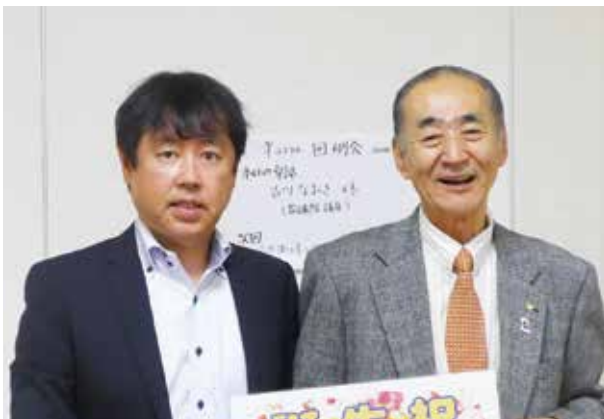
日向、二宮、宋、関口、福村、目黒

■オンライン出席者 中谷

■ゲスト 古川なおき様（衆議院議員）
関澤 信吾様

■誕生日祝い

佐藤 真吾会員



■会長報告

田川 富男

本日は皆さんもご存知の、衆議院議員古川なおき先生に卓話をお願い致しました。と言うよりも古川さんとは昔からのご縁であり旭ロータ

リーの友人です。ロータリー4つのテストの3番目に【好意と反情を深めるか】に値する関係です。そして、兵藤先生から見れば息子同然の気持ちだったと思います。

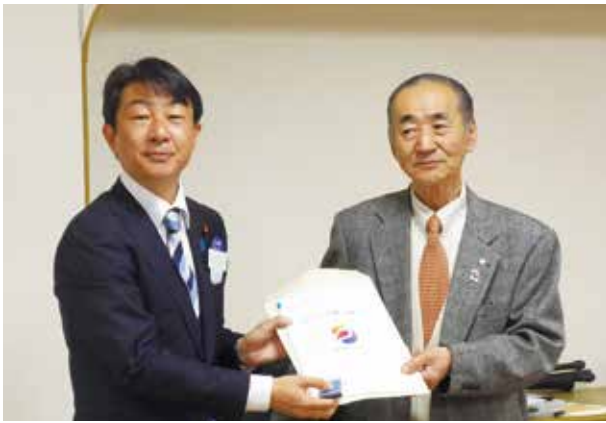
自分の思いですが、本来ならばロータリーの正会員に迎えたい気持ちですが、職業の職責を考えるとお互いに難しい点があります。そこで、全くしがらみが無い特別会員としてお迎えしたいと考えております。

先般、横浜旭ロータリークラブ理事会において理事全員が入会承認されました。よって、本日より古川なおきさんを当クラブの特別会員として入会を認め大歓迎をさせていただきます。おめでとうございます。

■古川なおきさん入会式

▷紹介／佐藤真吾会員

皆様！待望の古川さんをお迎えしました。本来であれば正会員としてお迎え出来れば一番いいのですが、中々職務上の事もありますし、それは叶わないということで、前々より古川さんにロータリーと関りをもって欲しいとお話し、この度クラブの方で特別会員という身分を作らせて頂いて、その第1号としてご入会をして頂いたということです。身分は正会員・名誉会員・特別会員と名称は異なりますが、会員としては変わりませんので、平たいお付き合いをして頂いて、古川さんにはロータリーの仲間としてお



迎えたいと思います。皆さんよろしくお願ひします。

▷歓迎の言葉／田川会長

ロータリークラブは1905年アメリカ合衆国シカゴで青年弁護士ポール・ハリスと友人3名で結成されました。当初は会員の職場をローテーションしながら例会場としたことでロータリークラブと名付けられました。

今では国境を越えて200以上の国と地域に広がり、日本でも1920（和暦大正9年）年に東京ロータリークラブが創立されました。ちなみに、横浜旭ロータリークラブは横浜市区制編成にともない、保土ヶ谷ロータリークラブを親クラブとし1970（昭和45年）年に設立され現在に至って、奉仕・親睦に活動をしています。

皆さんからも歓迎の言葉をいただければと思います。

■幹事報告

岡田 隆

▶川崎西ロータリークラブ

同好会を活用したクラブ活性化セミナー開催のご案内

我々川崎西ロータリークラブでは現在15の同好会が活動し、クラブの活性化を図っております。中には非営利団体組織の意志決定プロセスを勉強する「ロバート議事法研究会」や、鉄道で旅行に行く「グランクラス同好会」などユニークな同好会もございます。

今年度は樋口ガバナーのリーダーシップのもと、クラブの垣根を超えた地区での同好会活動もスタートいたしました。

そこで同好会活動の情報交換を下記の通り行い、皆様と一緒に「同好会を活用したクラブの活性化」について考える機会を作りたいと存じ

ます。メイクアップの方々、私たちの例会にご参加をいただけましたら、会員一同喜びます。

皆様のご来会を心よりお待ちしております。

日時／令和6年3月22日(金) 12時30分～

場所／HOTEL ARU KSP 3F「光の間」

川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク（KSP）内

連絡先／川崎西ロータリークラブ事務局

TEL 044-328-5475 FAX 044-328-5476

E-mail= kawasaki.west.rc@luck.ocn.ne.jp

締切／令和6年3月8日(金)

■ニコニコBOX

佐藤 勉／古川なおきさん本日は卓話よろしくお願ひします。お忙しい所ありがとうございます。関澤さんよろこそ、今後ともよろしくお願ひします。

田川 富男／古川なおきさん、旭ロータリークラブメンバーとして歓迎致します。公務多忙とは思いますが、クラブが直接的な応援は出来なくとも、各個人は自由応援が可能なクラブです。

岡田 隆／古川なおきさんの入会を祝して。関澤さんよろこそ、入会をお待ちしております。

本日の卓話楽しみです。よろしくお願ひします。

北澤 正浩／古川なおき様、ご入会ありがとうございます。卓話よろしくお願ひいたします。

関澤様よろこそ。

安藤 公一／古川様、公務ご多用の中ご来訪賜り、ありがとうございます。今後も引き続き地域貢献の為ご指導宜しくお願ひします。

関澤様、よろこそお出でいただきました。今後共宜しくお願ひいたします。

新川 尚／古川なおき様、関澤信吾様、横浜旭ロータリークラブへよろこそ！

佐藤 利明・真吾／古川さんをお迎えお迎えして、特別会員第1号です。ロータリークラブの仲間として、これからよろしくお願ひします。

入会候補者として関澤信吾さんをお連れしました。皆様よろしくお願ひします。

市川 慎二／古川なおきさんの入会を祝して。荒井さん、関澤さんよろこそ。

五十嵐 正／古川なおき様、この度は特別会員ご入会ありがとうございます。今後ともご指導

よろしくお願ひします。

■イニシエーションスピーチ 古川なおき

この度は特別会員としてご承認いただき、そして本日このような卓話の機会を頂戴いたしましたことに改めて御礼申し上げます。兵藤先生は希望ヶ丘高校時代の同級生のお父様ということで約30年前にご縁をいただき、無名の26歳の若者を横浜市議員にしてくださった、私にとっては父親のような存在でしたが、一昨年お亡くなりになりました。そんな兵藤先生のご縁が今日こういう場に繋がっていると思うと、本当に感慨深いものがございます。

令和元年の旭区誕生50周年の時、当時佐藤真吾さんが横浜旭ロータリークラブさんの会長をお勤めでした。とにかく何か旭区の歴史に残るイベントができないかと思い、兵藤先生にもご相談して、小笠原流流鏑馬祭を開催することができました。

小笠原家というのは初代小笠原長清氏が、源頼朝公の指南役を務め、歴代の将軍家に弓と流鏑馬と礼法を教えられ今日まで継承されています。この小笠原家次期宗家の小笠原清基様が弓を引けば、きっと畠山重忠公にも喜んでいただけたらと思います。佐藤会長に相談したら「古川さんやろう」と言ってくださったことは今でも覚えています。当日は約2000人の方がお越しになり大成功でした。礼法教室もいくつかの小学校で行ったり、旭公会堂ではPTAの方々にも様々な礼法などを学んでいただきました。

横浜市議員時代には、日産スタジアムのような公共施設に企業が愛称をつけるネーミングライツや横浜市のコールセンターの設置を実現させました。

現在は国会議員ですが、市議員の時と変わらずに、今も電車で南万騎が原の自宅から国会まで通い、皆様のお手元にお配りしているレポートを朝は駅頭で配布しています。

さて、やはり今皆さん一番気になっているのは政治とお金の問題ではないかと思ひます。普通の感覚でやっていたら何の問題もなかったものをごまかしてしまつた。お金のことにルーズになってしまつて、これぐらいならいいだろうと、心の緩みが事件に繋がつたと思ひています。



この間も岸田総理の前で、私は1年生議員ですが、要は永田町の国会議員の人たちはやっぱり一般の感覚が分かってないということをおし上げました。一般の感覚からすれば領収書がないとか何千万円も収支報告しないというのはありえない話です。そして、まずは党内ガバナンスを効かせて、何をしたのかは包み隠さず明らかにして、責任を取るべき人は取るべきだとおし上げました。それはもう当たり前の話だと思ひます。民間企業も何か不祥事があれば当事者は当然責任を取ります。

また法律においても、秘書だけの責任にするのではなくて、何かあったら政治家自らが責任を取るべきで、与野党問わず政治資金規正法を始め法律をどのように厳しく改正するのか、国民の皆さんが注目をしている所であると思ひます。

そんな政治改革国会の最中ではありますが、実は昨日、私は自民党衆議院当選同期の国会議員39人の会の代表幹事に就任いたしまして、その会では菅前総理にご講演をいただきました。政治家は法律を作り予算をつけることができる訳ですから、菅先生がいろんな法律を作られたように、私たちも頑張つていかなきゃいけないと思ひています。その実例について少しお話をさせていただきます。

今日も国会から戻つてくる時に、東京駅から新横浜駅まで新幹線に来て、相鉄線に乗り換えて二俣川まで参りました。大体国会から1時間ちょっとで到着できるのですが、これは相鉄新横浜線が開通したからです。実はこの開通は都市鉄道等利便増進法というちょっと長くて難しい名前ですけど、この法律があつて初めて成り

立っているということ、意外と皆さん知らないと思います。

日本は他国と異なり私鉄の路線が多く、経営者が違うために新しい線路を引いた直通運転はなかなかできず不便でした。そこでこの都市鉄道等利便増進法を作り、鉄道事業者の負担が少なくて済むようにしました。相鉄・JR 直通線に約 1100 億円、東急直通線に約 2900 億円、合わせて約 4000 億円の事業費がかかっていますが、このうち国が 1/3、地方自治体が 1/3 を負担します。我々は数百円程度で乗れますが、これだけの国費が入っているということ、是非知っていただきたい。

よく街頭でレポートを配布していると無視して通り過ぎる方も多く、選挙の投票率も低いですが、政治の役割は大きいと思います。鶴ヶ峰の連続立体交差事業も工事が始まっておりますが、総工費約 800 億円の話で、そのうち国費が約 400 億円入ります。田舎の道路や新幹線の整備だけでなく、都市も同じように全部法律と予算で成り立っているわけです。

まさにその政治の決断によって、旧上瀬谷通信施設で 2027 年に国際園芸博覧会が行われますが、そのきっかけとなった基地返還を一気にアメリカと交渉していただいたのも当時の菅官房長官でした。現在私は「2027 横浜国際園芸博覧会（花博）推進特命委員会」という自民党の組織の事務局長です。これはあくまでも党の組織ですが、自民党は政権与党なので、運営していくのは党本部の職員と国土交通省と農林水産省と経済産業省ということになります。特命委員会で決まったことや、出された意見というのは政府に必ず伝えられますし、当然会議には国際園芸博覧会協会も横浜市も参加します。私は責任を持って国際園芸博覧会の成功に向けてもっと頑張りたいと思います。

今大阪万博が非常に苦労しておりますけれども、万博はどちらかというと日本の技術を世界に向けて、また世界の様々な技術を集結して人類の全てのテクノロジーの博覧会ということになります。それに対して、国際園芸博覧会は「GREEN × EXPO 2027」と言われるように

自然との共生、持続可能性や生物多様性を踏まえて「幸せを創る明日の風景」というテーマで開催されますので、こちらにも非常に私は意義深いイベントになると思っています。しかし、まだまだそこまで理解が進んでいません。園芸博覧会というのは、単に大きな花壇ができるというイメージがあります。時間と機会をいただければ是非皆様と一緒に国際園芸博覧会がどのようなのか、共有させていただきたいと思います。

そして博覧会の後、跡地にはテーマパークが計画されています。これは三菱地所さんが主体的な事業者になりました。大いに期待をしたいと思うのは、三菱地所さんが世界中から人が集まるようなテーマパークを考えている。また北側は将来の自動運転を活用した物流の拠点になり、南側の公園・防災地区には野球場とサッカー場もできます。

横浜の旭区は、その他、横浜動物園ズーラシアやこども自然公園をはじめ、民間の活力を導入しながら、もっと発展すると思います。これまで横浜は、どちらかといえば海ばかりが目でしたが、これからは内陸の旭区を中心とした、緑に囲まれたこのエリアが非常に注目されることになると思っています。

最後になりますが、こうして皆様とご縁をいただきましたので、もう「先生」は今日をきっかけにやめていただき、同じ「古川君」ということで、仲間としてお付き合いいただきたいです。私もいろんなアイデアや国の情報をクラブの皆様へ、そしてこの旭区に持って来たいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

そして仲間も増やしたいと思っています。まだまだ旭区にはたくさん素晴らしい方がいますから、そういう方たちにもこの横浜旭ロータリークラブさんへ入っていただき、田川会長を中心にクラブが発展することが旭区の発展に繋がると思っておりますので、改めて特別会員としてよろしく願い申し上げます。本日はありがとうございました。

■ 2/28 休会

3/6 横浜瀬谷 RC との合同例会